

平成27年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成27年4月～平成28年3月

1. 学校概要

学校名 宮城教育大学附属小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

所在地 〒980-0011
宮城県仙台市青葉区上杉6-4-1

E-mail kansou@fu-syou.miyakyo-u.ac.jp

Website http://fu-syou.miyakyo-u.ac.jp

児童生徒数 男子 361名 女子 362名 合計 723名
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

<防災学習について>

本校では、毎年総合的な学習の時間において、3年生から6年生まで防災学習に取り組んでいる。本年度も、3年生から6年生まで系統立てて取り組んだ。

3年生では、主に学校を範囲として、地震が発生した場合の避難の仕方を考えたり、校舎内の危険箇所を調査しマップにまとめたりする活動を行った。

4年生では、通学路を範囲として、登下校時に地震が発生した場合の避難の仕方を考えたり、通学路の危険箇所や最寄りの避難場所を調査しマニュアルシートにまとめたりする活動を行った。

5年生では、仙台市を範囲として、地震発生後に役立つ施設を調査し、報告し合う活動を行った。

6年生では、東日本大震災発生当時を振り返らせ、新たに共助の視点を与え、自分にどんなことができるかを考えさせる活動を行った。その際、3月11日宮城鎮魂の日と関連させ、大震災当時消防署に勤めていた方をゲストとして招き、お話をいただいたことも、子供の防災意識を高めさせる点で大変有効であった。

全校においては、防災主任が計画する防災教室や避難訓練とも関連させたことで、低学年から防災への意識を持たせることもできた。

本校では、3年前の大震災以前から防災学習、とりわけ地震への備えという観点から学びを深めてきた。そして、大震災発生以来、その経験を根拠としてこれまでの学習内容を検証し、より実用的な学習内容へと深化させている。今後も改善を加えながら、子供の防災への意識を高めさせていける学習活動を模索していきたい。

<国際理解について>

4年生では、社会科の学習と関連させて、仙台市の姉妹都市（ダラスなど）を紹介し、外国に対する興味を高めさせた。その後、自分が特に興味を持った（行ってみたい）国を決定し、調査活動を行った。

調査活動では、図書資料の他にiPadを用いて情報を集めさせ、その後、学級や学年単位で発表会を行った。日本と外国との共通点や相違点について気付いたことをまとめさせたことで、それぞれの国についての理解を深めさせることができた。

<伝統文化について>

3年生では、地元の祭りである、仙台七夕祭りについて興味をもったことを追究する活動を行った。市の中心街を彩る七夕飾りや七夕の歴史、星座等の観点からテーマを設定して調べた後、同じテーマで調べた児童がグループとなり、同学年の子供や保護者を対象とした発表会を行った。また、七夕飾りに詳しい方をゲストティーチャーとして招き、飾りの意味やその作り方について学習することもできた。実際に飾りを作製し、市のアーケード街に飾らせてもらったことで、七夕を身近に感じさせることができた活動であった。

<食育について>

5年生では、歴史的な視点から話題を広げ、日本人と米についての関係の深さを捉えさせた。そこから米についての興味・関心を広げさせ、米に関する個人テーマを設定させた。例えば、米の品種、害虫の種類と及ぼす影響、米を使った料理、米作りの歴史などである。米の作り方については、社会科の学習と関連させた。また、実際にバケツで稲を育てる経験をさせたことで、育て方を具体的につかませることができた。放射能の影響により、自分たちで育てた米を食べることはできなかったが、数種類の米を実際に食べる活動を行ったり、レポート形式でまとめたりしたことで、学びを深めさせることができた。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常 of 授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（ ）